

ID:		=患者情報!B1			(ラムシルマブ単独) 療法				施行日		クール		
患者氏名		=患者情報!B2							入院/外来		入力日		年
年齢 性別		=患者情報!B6	=患者情報!B7	=患者情報!B8	入院/外来		入力日		年	月	日		
疾患名					開始日		年	月	日				
クール		2週毎			診療科								
		備考			医師名								
適応基準		<input type="checkbox"/> 1st Line <input checked="" type="checkbox"/> 2nd Line <input checked="" type="checkbox"/> 3rd Line以降 <input type="checkbox"/> 術前 <input type="checkbox"/> 術後補助 <input checked="" type="checkbox"/> 進行 <input checked="" type="checkbox"/> 再発			告知の有無			P	S	同意書取得		<input type="checkbox"/> 済	
		身長			cm	体重			kg	体表面積		0.00 m ²	
薬品名		単位		薬品名		単位		外来化療加算		<input checked="" type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> 対象外			
ラムシルマブ [®] 8 [サイラムザ]		<input checked="" type="checkbox"/> mg/kg <input type="checkbox"/> mg/body											
重要		B型肝炎の再活性化 (de novo B型肝炎) 対策として、右記の検査が未実施の場合は、全例スクリーニング対象となります。化学療法開始前or初回投与時に測定して下さい。									<input type="checkbox"/> HBs抗原 <input type="checkbox"/> HBs抗体 <input type="checkbox"/> HBc抗体		
		※詳細については、『化学療法により発生するB型肝炎対策～浦添総合病院バージョン～』をご参照下さい。											
休薬・減量・中止	副作用			処置									
	高血圧	症候性のグレード2、又はグレード3以上			降圧剤による治療を行い、血圧がコントロールできるようになるまで休薬 降圧剤による治療を行ってもコントロールできない場合には投与中止								
	蛋白尿	1日尿蛋白量2g以上			初回 発現時: 1日尿蛋白量2g未満に低下するまで休薬 再開する場合 → 6mg/kg に減量 2回目以降 の発現時: 1日尿蛋白量2g未満に低下するまで休薬 再開する場合 → 5mg/kg に減量								
	1日尿蛋白量3g以上、又はネフローゼ症候群を発現			投与中止									
レジメン内容													
順番	医薬品名			投与量	投与部位			投与スケジュール					
①	レスタミンコーク錠 (10mg)			5錠	ラムシルマブ投与30分前までに内服								
②	ラムシルマブ [®] 注 [サイラムザ]				D.I.V	1時間							
	生食液 (250mL)			250mL									
③	生食液 (100mL)			100mL	D.I.V			経過観察 (1時間)					
注意事項など													
看護師の方々へ; ラムシルマブ(サイラムザ注)投与の際は、必ずPVC点滴フリーセット、フィルターを使用して下さい。													
ボトル③はラムシルマブ投与2回目まで必須とする。 (infusion reaction確認のため: 3回目以降は不要)													
【備考欄】													
										確認者	監査者		
1Kur目		2Kur目											
Day	1	15	29	43	57							
ラムシルマブ [®]	↓	↓	↓	↓	↓							